

空気弁の漏水事故について

1 漏水事故の発生状況

平成 26 年 2 月 11 日（火）に都筑区東山田町 105 番地にて、空気弁の点検作業中に水道管（口径 600 ミリメートル）に設置されている空気弁（平成元年設置）本体の故障により、道路上に水が噴出する事故が発生しました。

なお、空気弁本体の故障が原因による事故は今回が初めてです。

事故発生状況写真



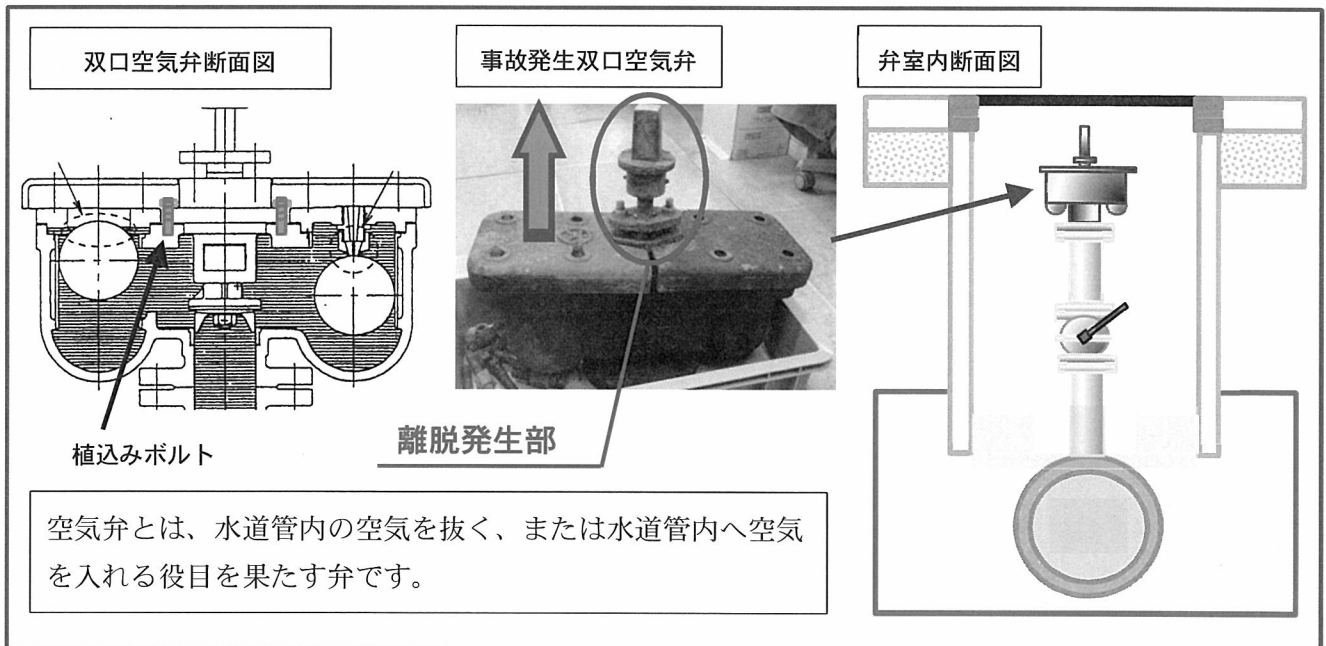
2 事故対応及び被害状況

水道管の水圧を下げて修理を行ったため修理に時間を要しましたが、断水せずに当日に修理を完了しました。

なお、この事故により交通渋滞等でご迷惑をお掛けしましたが、人的被害及び物損被害はありませんでした。

3 事故原因

空気弁本体の植込みボルトの腐食による事故と考えられますが、詳細は、製作メーカー等へ調査を依頼する予定です。



4 空気弁調査・修繕状況

現在、空気弁の機能保持、延命化、災害時の漏水事故防止を目的に、水道管に設置されている空気弁約 4,700 基を対象とした点検を委託にて実施しています。

その結果を基に、双口空気弁（約 4,000 基）から、安全性、耐震性及び機能の向上が図れる急速空気弁への取替えを平成 26 年度から更に促進する予定です。

【事業内容】

平成 26 年度から、双口空気弁を対象に設置年度や設置条件等を考慮し年間約 400 基の取替えを実施してまいります。

事業費：年間約 60,000 千円

急速空気弁

